

伊勢志摩地域リーダー育成セミナー「涌井塾」
塾生募集

伊勢志摩国立公園は民有地の割合が96%と非常に高く、人々の営みと自然が織りなす美しい景観が最大の特徴となっています。

多くの方が暮らす伊勢志摩国立公園を世界水準の「ナショナルパーク」とするには、そこで生活を営む人々の意識と行動が何よりも重要であり、伊勢志摩国立公園に関わる方々がそれぞれの活動を通じて、国立公園ならではの魅力を高めていく必要があります。

この塾では、地元企業や地域住民等の方々を巻き込みながら、伊勢志摩国立公園のブランド化に向けた活動ができる人材を育成することとします。

主催

三重県

概要

(1) 連続セミナー（全3回）

塾生が、自ら取り組んでいる地域資源を活用した事業や将来の目標を発表しあい、互いに目標に近づくための課題等を議論するためのワークショップ形式のセミナーを開催します。

<セミナー日程、構成及び講師登壇予定>

第1回	平成29年10月29日（日）13時30分～17時00分 （鳥羽商工会議所<三重県鳥羽市大明東町1-7>） ・塾長による講義「伊勢志摩の魅力と大切さ（仮称）」 ・塾生の取組を議題にしたディスカッション（ワークショップ形式） （ファシリテーター：江崎 貴久 氏）
第2回	平成29年12月13日（水）13時30分～17時00分 （伊勢市観光文化会館<三重県伊勢市岩渕1丁目13-15>） ・塾生の取組を議題にしたディスカッション（ワークショップ形式） （ファシリテーター：橋川 史宏 氏、江崎 貴久 氏）
第3回	平成30年2月上旬 13時30分～17時00分 （会場調整中） ・塾生の取組を議題にしたディスカッション（ワークショップ形式） （ファシリテーター：橋川 史宏 氏、江崎 貴久 氏）

※開催日時、会場等の詳細は、開催日までにあらかじめ塾生の皆様へお知らせします。

※内容は、塾長、講師スケジュール等により変更することがあります。

(2) 地域交流会への出席

塾生が自らの取組を地元企業や地域住民の方々に発表し、塾生相互の意見交換を行うことにより、その取組が持続していくように、塾生と地元企業、地域住民等の方々とのネットワーク構築を目指した交流会を開催します。

<地域交流会日程、構成及び講師登壇予定>

平成30年3月上旬 13時30分～17時00分

(会場調整中)

- ・塾長による講義「伊勢志摩の魅力と大切さ(仮称)」
- ・地元企業や地域住民等との交流会

(ファシリテーター：橋川 史宏 氏、江崎 貴久 氏)

※開催日時、会場等の詳細は、開催日までにあらかじめ塾生の皆様へお知らせします。

※内容は、塾長、講師スケジュール等により変更することがあります。

塾長

涌井 史郎 氏

造園家として、多摩田園都市、ハウステンボスのランドスケープ計画・デザインに参加する。都市と自然の関わりにおけるランドスケープデザイン作品を数多く手がけ、日本造園学会賞、国土交通省大臣賞等を受賞。

また、国立公園を世界水準のナショナルパーク化してブランド化を図ることを目標にした満喫プロジェクト(ナショナルパーク化)において、有識者会議の座長を務める。

現在は、東京都市大学教授、桐蔭横浜大学で特任教授を務めるとともに、TBS「サンデーモーニング」等で、コメンテーターとしても活躍中。平成28年9月に、ONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構の会長に就任。

ファシリテーター

(1) 橋川 史宏 氏

昭和60年に参拝客と観光客で賑わう伊勢神宮内宮前「おかげ横丁」の立ち上げに携わる。平成19年より株式会社伊勢福おかげ横丁の代表取締役社長に就任。

また、平成14年に三重県の紀南振興プロデューサーになり、平成16年に紀南ツアーデザインセンター長を兼任する。同センターは環境省のエコツーリズム大賞をこれまでに3回受賞し、そのうち1回（平成24年）は日本最高の栄誉である大賞を受賞。

(2) 江崎 貴久 氏

平成17年に日本エコツーリズム協会「このガイドさんに会いたい100人」に選ばれたほか、内閣府男女共同参画「女性のチャレンジ賞」や地域づくり総務大臣表彰を受ける。有限会社菊乃の代表取締役（兼、旅館海月5代目女将）、鳥羽市エコツーリズム推進協議会の会長を務める。

また、有限会社OZ（海島遊民くらぶ）の代表であり、同社は、環境省のエコツーリズム大賞をこれまでに3回受賞し、そのうち1回（平成21年）は日本最高の栄誉である大賞を受賞。

受講料

無料

募集要項

(1) 対象者

次の要件を満たす人とします。

- ・伊勢志摩国立公園の持つ景観や食・文化・歴史等の資源を大切にしつつ、活用した事業を行っている人（観光関係事業者、漁業関係者等）、または、伊勢志摩国立公園に愛着を持って、資源の保全と活用に取り組んでいく意欲のある人。
- ・上記の取組を通じて、地元企業や地域住民等の方々に、国立公園の持っている資源を守っていくことの大切さを伝えたいと考えている人。
- ・原則として、すべての回のセミナー及び地域交流会に出席できる人。

(2) 募集人数

約10名（応募者多数の場合は、レポート〈別紙受講申込書〉を審査のうえ選考します）

(3) 募集期間

9月11日（月）～10月13日（金）

(4) 応募方法

次の2つのテーマについて、別紙受講申込書に1,000字程度のレポートを記入のうえ、下記申し込み先まで郵送、ファックス、メールで提出してください。

【テーマ①】伊勢志摩国立公園の地域資源を活用して、現在行っている

活動内容について。

【テーマ②】 10年先を見据えた目標、及び目標に向けて今から取り組もうとする活動内容について。

<申し込み期限：平成29年10月13日（金）必着>

申し込み及び問い合わせ先

三重県農林水産部 みどり共生推進課
自然公園班 山田、平野
〒514-8570 津市広明町13番地
電話：059-224-2627
ファックス：059-224-2070
メール：midori@pref.mie.jp

参考

「伊勢志摩国立公園について」

【悠久の歴史を刻む伊勢神宮、人々の営みと自然が織りなす里山里海】

三重県中央部に位置する志摩半島とその周りに広がっており、伊勢市・鳥羽市・志摩市・南伊勢町にかけて、およそ6万ヘクタールの面積を占めています。

長い歴史を持つ伊勢神宮とその周辺の森、そして海岸線が入り組んだリアス海岸が特徴です。豊かな海を使った漁業が盛んで、伝統の海女文化が今なお息づいています。また、穏やかな湾は養殖漁業に適しており、カキや真珠の養殖が盛んで、世界で初めて真珠の養殖に成功した場所でもあります。

多くの人々が暮らす伊勢志摩国立公園の優れた景観は、自然と人との関わりの長い歴史のなかで築き上げられ、先人たちが大切に守り育ててきた地域の貴重な財産です。